

2019

7

July
No. 316

広報みしま

おいしいお米になるように
三島小学校 田んぼの学校「草取り」
(8 ページに関連記事)



宮下地区で開催される 地域住民によるイベント

てわっさの里まつり

てわっさの里まつりは6月8日、9日工人まつりと同時に宮下地区内で開催され、工人まつり同様に県内外から多くの来場者が訪れました。この日は宮下地区が1年で最も賑わう日となり、空き地や車庫をギャラリーとして利用し、今年は108店（うち町内26店）が出店しました。

年々出展者、来場者ともに増え、2日間限定で歩行者天国となった地区のメインストリートには雨にも関わらず大勢の来場者で賑わい、活気に満ちていました。



宮下大善広場の様子



車庫をギャラリーとして利用したお店



雨にも関わらず大勢の来場者で賑わう宮下地区

内堀雅雄福島県知事が来町

生活工芸館の薪ボイラーを視察 生活工芸アカデミー生らを訪問

内堀雅雄福島県知事が6月25日、三島町を訪問されました。生活工芸館において矢澤町長、秦副町長と会食をしながらの意見交換の後、平成30年度に設置された薪ボイラーの視察を行いました。町担当者から木の駅事業と連携した薪ボイラー冷暖房システムについての説明を行いました。

その後、工人の館に移動し生活工芸アカデミー生、生活工芸伝承生を訪問し、内堀知事はアカデミー生ら一人ひとりに声をかけ、アカデミー生を志したきっかけや三島町での生活の様子などを質問されました。終始、和やかな雰囲気での視察となりました。内堀知事と意見を交わす貴重な時間となりました。



矢澤町長から薪ボイラーについて説明を受ける内堀知事



工人の館において生活工芸伝承生との談笑の様子



生活工芸アカデミー生たちのヒロロバッグ製作過程を見学

副町長に秦育雄氏を再任

任期は令和5年6月30日までの4年間



6月21日に開催された三島町議会定例会において、矢澤町長から副町長の選任案が提出され、秦育雄氏（大石田・72歳）の再任について議会の全会一致で同意を得ました。これに基づき7月1日に行われた辞令交付式において、矢澤町長から秦副町長へ辞令が交付されました。任期は令和元年7月1日から令和5年6月30日までの4年間です。



二日間で2万3千人が来場

悪天候でも多くの来場者で賑わう

第33回ふるさと会津工人まつり

町最大のイベントに
来場者2万3千人

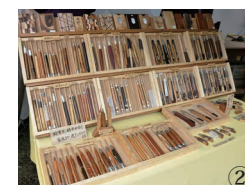
第33回ふるさと会津工人まつりは6月8日、9日の二日間、生活工芸館前で開催されました。天気予報通り8日は朝から雨が降り続きましたが、県内外から来場者が続々と訪れ、会場は工人と来場者の熱気に包まれました。二日間の来場者数は2万3千人となり、悪天候にも関わらず多くの人で賑わいました。

出店募集には270店の応募があり、審査を経て183店（うち町内23店）が出店。北は岩手県、南は熊本県から工人たちがこだわりの品々を持って集まりました。来場者は工人との会話を楽しみながら思い思いに買い物を楽しんでいました。

また、今年から台湾との交流事業の一環として、国立台湾工芸研究発展センターからも出店がありました。イグサや柿染めなどで作られた日本の工芸品とは一味違った工芸品に来場者は足を止め、熱心に見入っていました。



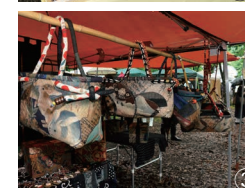
①



②



④



③

①台湾から出店されたイグサを使ったバッグや帽子
②③趣向を凝らしたさまざまな工芸品が並んだ
④山ブドウのバッグやマタタビ箆は根強い人気

今年で33年目を迎えた工人まつり。日本から海外へも広がる交流の場となりました。これからも皆さんの力を合わせ、より良いイベントにしていきたいでしょう。

三島町空き家セミナー

『どうする、あなたの空き家！？』

全国的にも問題になっている空き家。三島町も人口の減少とともに、空き家が増えており、町の空き家率は24%、**4件に1件**が空き家の状況となっているため、空き家対策の推進が求められています。一方、近年の田舎暮らしへの関心の高まりによる移住相談が年々増えており、空き家の解消や人口増加による地域活性化に期待が持てる状況にあります。

空き家の調査や利活用には所有者の方はもちろん、地区の方々のご協力が不可欠です。空き家の問題は、時間が経てばたつほど複雑になり、管理に費用が掛かるなど解決が難しくなってきます。

お盆でご家族の方が集まることも多いこの時期に、空き家の利活用などについて考えてみませんか？

○日時 **8月15日(木)** 午後1時30分から午後3時

○会場 町民センター 2階 視聴覚室

○内容 空き家の利活用と相続・登記に関する諸問題について

○講師 IORI 倶楽部事務局長 金親丈史氏

矢木司法書士事務所 司法書士 矢木寅雄氏

○対象者 三島町民、町に空き家を所有している方

**入場無料
申し込み不要**

※講演会終了後、午後3時から矢木司法書士による相続や登記に関する個別相談会(20分程度)を実施します。**3組限定の予約制**となりますので、お早めにお申込みください。ご予約の際には具体的な相談内容をお伝えください。

申し込み / 問い合わせ先 地域政策課 地方創生推進係 ☎(48) 5533

協力隊コーナー Vol.3

植村 明恵さん

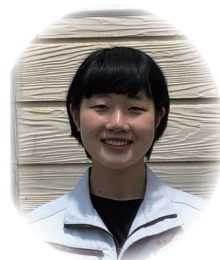


地域おこし協力隊1年目の植村明恵です。今月は私が担当させていただきます。私の仕事は始業前に会社前の花壇の手入れから始まります。先輩にお花の名前を教えてくださいながら今は草むしりをしています。時々咲いているお花までむしってしまい、こっそりと埋め直すことも…。少し前に種を蒔いたマリーゴールドとマロウの芽が少しずつ成長して、毎日ワクワクしながら観察しています。

業務である会社の仕事では材料づくりから機械加工、接着、カンナがけ、塗装など製品を作る工程のほとんどを経験させていただいています。カンナを使うのは高校の卒業製作以来だったので、実に数ヶ月ぶりでした。刃がボロボロになっていたのも、先輩の真似をして一緒に刃研ぎをしましたが研いでいる音が全く違いました。恐る恐る「すっすすー」と研ぐ私と一定のリズムで「しゅっしゅっしゅ」と研いでいる先輩。思わず口をぽかんと開けたまま先輩の手元を見つめてしまいます。カンナの研ぎが甘いと桐の削りにも影響してしまいます。ものづくりが好きでも基本的な事を身につけていかないといけないなぁと痛感しました。

4月に着任して早いもので3ヶ月が経ちました。生活も少しずつ落ち着き、仕事以外でもだんだんと欲がでて「太極拳をやりたいなぁ」「ぬか漬けをやりたい」「運転で少し遠くまで行きたい」など挑戦してみたい事だらけでワクワクしています。休日などを利用して趣味にも時間を使っていきたいです。

まだまだ駆け出しの身ですが、仕事も生活も頑張っていますので、どうぞよろしく願いいたします。



移住者インタビュー

三島町には様々な想いを持って移住された方がたくさんいらっしゃいます。インタビューを通して、空き家の利活用や移住定住のきっかけ、三島町の新たな魅力発見につながればと思います。移住者インタビューを連載します。

その2 さとうみちこ 佐藤美智子さん(72歳) 宮下地区在住

只見川の川霧に魅せられ、59歳のときに三島町へ移住。築50年以上の旧宮下集会所を暮らしやすいようにリフォームし、住まわれています。三島町13年目の現在は、趣味の写真を楽しみながら、愛猫2匹との3人暮らしを満喫されています。

『川霧に魅せられて』

「三島町に移住したきっかけは？ 東京都内や埼玉県川口市などで暮らしていましたが、2つの流れがあり三島町へと移住しました。まず一つ目が仕事の減少。トレーサーという上下水道などの設計図を手描きで清書する仕事をずっとしていましたが、時代の流れとともにコンピュータが取って代わるようになり、仕事が減ってきていました。二つ目が趣味の写真です。45歳頃から会津に写真を撮りに来るようになり、さらに奥会津写真ツアー(只見川電源流域振興協議会主催)が始まり、通算10回ほど参加しました。その間に三島町の写真クラブの人たちと親しくなりました。その頃、宮下の集会所を解体する話を持ち上がっており、空き家を探していた私に、そこに住まないかと冗談半分で声をかけられました。36畳もある集会所に住むなんて、はじめは考えられませんでした。写真仲間が宮下の地区委員会に私が住むことを掛け合ってくれ、満場一致で受け入れてもらえることになりました。そういうタイミングが重なり三島町へと移住し、今

も集会所を借りて住んでいます。——どのような写真を撮っているのですか？ 基本的には自然風景を撮ります。私は何といつても只見川の川霧に魅せられて三島町にやってきました。毎回違う表情を見せてくれ、飽きることがありません。只見線も近年有名になりましたが、川霧の風景も見事です。川霧を堪能しながらゆっくりコーヒーでも飲める場所があったらなと思うのですが、今のところはつるのIORIカフェくらいでしょうか。毎年大林のカタクリの時期も楽しみです。子どもの頃に山で見た花なので、郷愁を覚えます。ツアーでは大林のカタクリを見ることはなかったのも、移住して初めてこの存在を知り、訪れたときは感動しました。自分の地区以外にも各集落の行事や町のイベントに出向いて写真を撮りに行っています。そうすることで色々な方とも知り合え、楽しいです。

また最近、昆虫撮影にも夢中。三島町には多くの魅力があり、小さくても輝いている町だなと思います。三島町の魅力の一つでもあるものづくりも、こちらに来てから興味を持ち、やるようになりました。編み組のバックや箆などは、ものづくり教室に通って習いました。また、テーブル・お盆・ペンケースなどの木工製品は森のしごと舎で習いながら自分で作りました。三島町には多くの魅力があり、小さくても輝いている町だなと思います。





木のぬくもりを感じよう！ 山と木の市場を開催

6月8日、9日工人まつりと同時に名入地区にある佐久間建設工業株式会社の木工場において、山と木の市場が開催されました。桐をはじめとする奥会津産の木材の販売やカンナかけコンテストなどの催し、子ども達が木のおもちゃと触れ合う遊び場「木育広場」も設けられ、木のぬくもりを直に感じられるイベントは来場者を楽しませていました。



山と木の市場の様子



花言葉は「清らかな心」「親切」 町産かすみ草の初出荷

町産のかすみ草は、JA 会津よつばかすみ草部会を通じて、全国の市場に出荷されています。6月17日に出荷が始まり、所属する町内の3生産者は、6月19日に川井地区の集荷場に集まり、品質などを確認しました。集荷場には「銀河」という品種やカラフルな「染かすみ」などもあり、市場のニーズに応じた生産を行っていました。出荷作業は10月下旬まで続きます。



かすみ草生産者の皆さん（左から）秦正信さん、京子さん（大石田）、角田亀好さん、光子さん（川井）、五十嵐健二さん、陽二さん（名入）



親子で学ぶ歯と口の健康 「良い歯の教室」を開催

6月19日、三島保育所の保育参観に併せ「良い歯の教室」が開催されました。二本松市在住の特定歯科衛生士 嶋原ヨシ子先生を講師にお招きして、約30名が参加し開催されました。嶋原先生から虫歯のできるメカニズムや歯磨きの大切さなどについての説明を受け、参加された保護者の皆さんは熱心に耳を傾けていました。歯磨きは虫歯予防の基本です。いつまでも健康な歯を保てるようにしましょう。



保育所で行われた良い歯の教室の様子



令和元年度夏季ビーチバレーボール大会を開催 1部優勝はオール桑原チーム 2部優勝は Six dieu チーム



1部優勝のオール桑原チーム



2部優勝のSix dieu チーム

公民館主催の令和元年度夏季ビーチバレーボール大会は6月12日・13日の2日間にわたって開催され、年齢制限のある1部（4チーム参加）と制限のない2部（4チーム参加）に分かれ、それぞれ白熱した試合をみせました。今回の優勝チームは1部がオール桑原チーム、2部がSix dieu チームでした。次回は10月に開催予定です。多くの皆さんのご参加をお待ちしています。



タッチプールで海の生き物と触れあう子供たち



自然を楽しみ山頂へ 第51回志津倉山開きを開催

第51回志津倉山開きは6月2日、県内外から約130人が参加し開催されました。登山口で安全祈願をした後、参加者の皆さんは思い思いのペースで山頂を目指しました。下山後には抽選会が行われ、志津倉山ゆかりの「かしや猫Tシャツ」などの賞品を手にした方からは笑顔がこぼれました。最後に間方地区の皆さんによる山賊鍋もふるまわれ登山後の疲れた体を癒しました。



山頂を目指す参加者の皆さん



事業計画や予算を承認 令和元年度県立宮下病院等後援会総会

6月10日、町民センターにおいて県立宮下病院等後援会総会が行われ、会員約30名が出席しました。平成30年度事業報告と会計決算、令和元年度事業計画と会計予算が承認されました。また、今年度より後援会事務局を役場町民課から特命担当課へ変更する規約の改正案が提出され、全会一致により承認されました。



町民センターで行われた総会の様子



心不全について理解を深める 宮下病院等後援会主催の健康講演会

6月10日、宮下病院後援会総会終了後、宮下病院内科医長の佐藤悠先生による「心不全について」の講演が行われました。心不全は心臓の機能が低下して、体に十分な血液を送り出せなくなった状態のことで、心臓だけでなく、他の臓器にも異常を起こす怖い病気です。参加された皆さんは先生の話に熱心に聞き入り、心不全についての理解を深めていました。



町民センターで行われた講演会の様子



「虫送り」後世へつなげ、地域の伝統行事

文・写真 本名与四郎さん(西方)



6月8日、西方地区の伝統行事である「虫送り」が行われました。当日は朝から雨模様にもかかわらず、中学生や地区役員の方、地域の伝統行事を守り続けてこられている小松順太郎さんの協力のもと、竹を切って運ぶ班と、山車の周りに使う雑木を切って持ち寄る班に分かれて作業を開始し、幼児に持たせる「提灯」や道案内を行うための「松明」、山車の飾り付けなどを正午近くに完成させました。

空が夕暮れに染まる午後7時30分、西方の郷倉をスタートしてメインストリートを練り歩きました。西方地区の幼児、小学生、中学生だけでなく他地区の子どもたちも多数参加し、1ヶ月以上かけて仕上げた手作りの提灯を手に、大きなかけ声が小雨交じりの空に響き渡りました。

テーマは「みんなで繋ぐ運動会」
西方健康を守る会運動会を開催

文・写真 本名与四郎さん(西方)

「第22回西方健康守る会の運動会」が6月2日、ふるさとセンターで開催されました。地区住民約100名が参加し、開会式では長谷川美義会長より「みんなで繋ぐ喜びのある運動会にしよう」と運動会のテーマと関連させた挨拶がありました。1組から14組までの隣組が紅組と白組に別れ様々な競技を行い、終始笑い声が絶えませんでした。

最終種目は全員参加による「NKMじゃんけん大会」が行われました。「NKM」とは「**西方健康を守る会**」の頭文字をアルファベットで表記したもので、じゃんけんの勝者が敗者の首から提げた五円玉をいただけるという競技です。結果は二瓶教子さんが優勝しました。

和やかな雰囲気の中、趣向を凝らした競技が繰り広げられ盛会のうちに終了となりました。

早戸本村「^{しょうぶ}菖蒲沼」の菖蒲が満開に

文・写真 橋本光五郎さん(早戸)



去年の「広報みしま9月号」で、早戸本村にある「^{しょうぶ}菖蒲沼」と「イモリ池」が渇水で枯れてしまったことをお伝えしましたが、今年の春には水が戻りイモリ池の端では例年より若干少なかったように感じましたが水芭蕉も咲きました。6月に入ってから菖蒲沼の菖蒲も黄色い花を咲かせています。地区の長老の話では、昔は紫の花を付ける株もあったそうですが、今は全て黄色の花になってしまったとのこと。調べてみると咲いている黄色の菖蒲は帰化植物の「黄菖蒲」のようです。

環境省が出している「生態系被害防止外来種リスト」を見ると黄菖蒲は、甚大な被害が予想されるため対策の必要性が高いとされる「重点対策外来種」に指定されており、近縁の絶滅危惧種のカキツバタ等の遺伝的攪乱やこれらを含む水辺や草原の在来種と競合・駆逐が危惧されるとされています。咲いているのが黄菖蒲だとすると、在来種の「紫の菖蒲」が無くなってしまったという話にも納得できます。

菖蒲沼は春先など菖蒲が伸びていない季節にはカモやオシドリが飛来することもあり、我が家の窓から見ることもできる菖蒲沼の四季を追っての変化は、私たち夫婦のささやかな楽しみともなっています。今後、見た目には綺麗な「黄菖蒲」とどう付き合っていくのか悩ましいところです。



「ころばし」を使って田んぼの草取り

文・写真 小島 純さん(宮下)



宮下地区(近藤勇彦区長)、三島小学校と公民館の交流事業「田んぼの学校」が6月20日、三島神社前にある三島小学校の田んぼで行われました。三島小学校5・6年生と宮下地区委員、びおたんクラブの役員が参加し、5月に田植えを行った田んぼの草取りに汗を流しました。児童たちはびおたんクラブの役員の方々から指導を受け、昔ながらの道具「ころばし」を使って泥んこになりながらも一生懸命作業し、おいしいお米になることを祈りつつ終了しました。



川井地区のキマダラルリツバメ観察会

文・写真 角田伊一さん(川井)

町の天然記念物キマダラルリツバメの美しい生態写真を撮影するため、全国から沢山の研究者や愛好者が川井地区の観察地に来訪しており、生息地の保護と種の保全を啓蒙する目的から、ほぼ毎日観察会を開催しております。町内の皆さんでもこの珍しいチョウの美しい姿を見た方はほとんど無いようです。三島のキマダラルリツバメは全国的に知られており、この時期になると毎日20～30人の方が観察や撮影に訪れています。観察は7月中旬まで可能です。関心のある方は是非観察会においでください。



倉掛沢水路の土砂上げ作業を実施

文・写真 小島 純さん(宮下)



6月22日、宮下地区委員10名で倉掛沢の水路の土砂上げ作業を行いました。倉掛沢から宮下・荒屋敷・桑原方面に流れる水路の土砂を年に1回取り除く作業で、委員の皆さんは集水桝や道路を流れる水路の土砂上げに汗を流しました。

倉掛沢の水は、田んぼや消雪道路、地区の用水として利用されている水です。これからも大切な水資源をいつまでも利用できるよう、地区住民が一丸となって水路等の維持・管理に努めていきます。



アメシロ(アメリカシロヒトリ)の駆除作業

文・写真 佐々木邦雄さん(桧原)

6月23日、地区役員と組長の計7名によるアメシロ駆除作業を実施しました。今年も町より散布機の貸与を受け、薬剤をいただき作業日程や注意事項を記載したチラシを各戸に事前に配布のうえ実施しました。アメシロは多くの樹木(梅・柿・桜等)に発生し、葉を食べ荒らすため早めの駆除が効果的です。

毎年アメシロが発生しやすい本格的な梅雨前に実施しており、作業は地区居平と新田の町道沿いを中心に実施され、およそ2時間で終了しました。作業にあたった皆さんは地区の美しい緑を守り快い気持ちで解散となりました。



○子宮頸がん検診は非常に有効で、進行がんを防ぎ、死亡を減らす効果が証明されています。そのため欧米での受診率は高く、例えばアメリカでは 18 歳以上の女性の 80%以上が過去 3 年以内に 1 回以上健診を受けています。

○子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルスへの感染がきっかけとなって発症します。ほとんどの人が感染し、その中の一部の人々が感染が長引き、子宮頸がんに進みます。感染が長引くと細胞に変化が現れますが、検診ではこの段階で異常を見つけることができます。また、子宮がんのほかに、見つかりにくい卵巣腫瘍や、婦人科の病気が発見できることもあります。

○早期の治療で、90%以上が治癒します。早期のうちに発見し治療を行うと、その後の妊娠・出産も可能です。進行すると子宮摘出術が必要となる場合もあり、治療が難しいことから、早期発見が極めて重要といえます。

○子宮頸がん自覚症状はほとんどありません。

○20 代から 30 代の方の若年層で急激に増えています。下記日程で実施しますので、ぜひ 20 歳以上の方の受診を強くお勧めします！また、喫煙している方はリスクが高いため必ず受診してください。

◆子宮がん集団検診

月 日	会 場	受 付 時 間
7 月 18 日*	町民センター	午後 1 時 30 分から午後 2 時

◆子宮がん施設検診

期 間	検 診 場 所
8 月 1 日*から 12 月 25 日*	施設検診登録医療機関 (会津若松市・会津坂下町)



図書のご案内

●今月のおすすめ

『82 年生まれ、キム・ジョン』

作：チョ・ナムジュ

主人公キム・ジョンの人生を通し、教育、仕事、結婚、育児などにおいて女性が出会う様々な困難や差別が克明に描かれ、韓国で絶大な共感を得ている小説です。



『おすしのずかん』

作：大森裕子

子どもも大人もみんなが好きなおすしの絵本です。ページをめくるたびに「これが好き」「これ食べたい」と親子で会話が弾みそうです。



題 名	著 者
えんとつ町のプペル	に し の あ き ひ ろ
アリからみると	桑 原 隆 一 栗 林 彗
アリの目日記	栗 林 彗
元素キャラクター図鑑	若 林 文 高 い と う み つ る

●新着本●

町史編さん室だより

第 42 回

沼田街道の開修（後）

宮下村外五十一ヶ村連合会の代表である大登村の渡部禎二・馬場庄作両氏は、明治二十一年（一八八八）四月一日、「沼田街道開鑿臨時会請求書」を郡長に提出、本年中に着工すべく臨時会開設を願い出ました。十一日に臨時会が開催され、前年十月宮下連合村会にて決議された「沼田街道」開鑿費と県が予算として計上している沼田街道「修繕費」を「開修費」に振替、これに町村費を加えた上で起工することを県に請求することを決議しました。県も請求を受けて技師を派遣、沼田街道開修に関し、「西川村大字宮下ノ南端ヨリ只見川を涉り川西村大字名入地内高清水及び同村大字早戸地内を経て沼沢村大字水沼に達する路線を改修の線路」に査定されることになりました。

同年九月十一日に改めて臨時会が開かれ、右記の変更を受け入れました。その議決を以て県知事宛に「沼田街道開修履行請求書」を提出、二十一年の雪消次第の起工を予定していました。が、すでに九月、できるだけ早い着手をお願いしたい旨を申し出ました。

こういった開修事業の一部始終は『沼田街道開修顛末』なる書にまとめられていま

ご家庭に古い文書などがございましたら、交流センター
山びこまでご連絡ください。

☎ (52) 2165

八日、「沼田街道出来形検査トシテ監督所長明九日当地へ出張（後略）」という通知が馬場・渡部両氏宛に届いていることから「沼田街道」を県道として仮定されてから十年の後、悲願であった道路の開修が終わったことが窺えます。三島町内でも換線―旧道から新道になった箇所があり、例えば駒鳴瀬の峠越えではなく、いわゆる「川井新道」を通るようになったのもこの時からです。ただこの時点では、宮下―高清水間は橋梁がないままで、橋が架かったのは三年後となる明治二十七年でした。

本書の結びには「実ニ多年ノ間苦慮経営シ運動ノ雜費幾百円ナルヲ知ラス然レモ皆発起者一同ノ負担セシモノニシテ人民之力為メ責ヲ帯ルナキハ実ニ衷情ノ深キ永ク忘ルル事ナカルベシ」とあり、発起人達が私財を投じて道路の改修に尽力したことが語られており、当町における近代の道路改修の苦勞が偲べれます。

（参考文献）『沼田街道開修顛末』
※引用文のうち、旧字は新字に改めています。

文 三島町町史編さん室

環境研だより 第12回「研究協力者インタビュー2」



三島町のみなさま、こんにちは。

前回に引き続き、5月17日に行われた第1回奥会津研究集会に出席された方の中から、今回は大阪大学の松井孝典助教と日本学術振興会の芳賀智宏特別研究員に、ご自身が普段取り組んでいる研究内容や三島町での研究についてお話を伺いました。



第1回奥会津研究集会に参加された大阪大学の松井孝典助教（右）とインタビューにお答えいただいた芳賀智宏特別研究員（左）

Q. 芳賀さんは普段どのような研究を行っているのでしょうか？

今後、全国的に人口が減ってしまうと考えられている中で、将来を見据えたときに人々が自然のものを利用するのか、人工物を利用するのか、都市部に人が集中してしまうのか、それとも地方にもちゃんと人が残って手入れをしていくのか、といった我々が取り得る将来のシナリオごとに森林や農地、自然の豊かさというのがどう変化するのかを主に北海道にてシミュレーションしています。

最近では、人が減ってしまったためにどうしても管理が行き届かなくなった広大な農地に対して、太陽光パネルを設置して電力を発電するような社会と、もしくはバイオマスの材料にするために植林をして地域の中でエネルギー供給をするような社会、どちらの方が生態系への影響が少ないかという研究を北海道で行っています。

Q. 三島町で実際に行っている研究とはどのようなものなのでしょうか？

三島町ではまだ研究を行ってはいないので、今後どういう研究を三島町でしていきたいか、というお話をさせていただきます。

三島町にお住まいの皆さんには色々な自然との付き合い方があると思うのですが、森林管理ひとつ取っても、地元の人が考えていらっしゃる方法、研

究者からおすすめした方法が違ってくると思います。方法が違うと、実際に森林がどう変化するのか、シミュレーションモデルを使って研究したいと考えています。

また三島町は、広大な農地がある北海道とは違うため、森林に注目してモデルを運用できればと思います。三島町で共同研究を行っている方には水文や土砂災害の研究をされている方もいらっしゃるようですので、そのような方たちに森林の変化に関する情報を交換していきたいと考えています。



大阪大学大学院工学研究科 日本学術振興会特別研究員 芳賀智宏さん

Q. 三島町にどのような印象をお持ちですか？

私の出身が栃木県日光市の山の方なので、景観が似ていて、とてもホッとする印象を持っています。また地鶏やお蕎麦など、美味しい食べ物がたくさんあるな、という印象で毎回三島町を訪れるのが楽しみになっています。

芳賀さんありがとうございました。

第1回奥会津研究集会での報告や岡澤先生、芳賀さんのインタビューから、水資源や森林管理、土砂災害についてなど、色々な方面からの研究が三島町で進められていることがわかりました。これからも三島町で行われている研究の内容や成果をこの「環境研だより」でお伝えしていきたいと思います。

<筆者紹介>

常盤 達彦（ときわたつひこ）

会津自然エネルギー機構主催の山学校に初参加しました。チェーンソーの取り扱い方や手入れの仕方、危険性を教えていただき、少しですが山仕事の大変さを実感できました。



国立環境研究所福島支部
地域環境創生研究室 ☎ 0247 (61) 6572

診察日記

～肝胆膵疾患の話～

内科 牧 匠 医師



消化器の病気というと胃癌や大腸癌など消化管の病気を真っ先にイメージするかもしれませんが。しかし消化器の病気には消化管以外にも、肝臓、胆管、膵臓といった臓器の病気も含まれます。

近年、有名人が膵癌などで亡くなる報道が相次いでおります。これら肝胆膵疾患、特に癌などの腫瘍では、早期の段階では症状が全くないことがあります。症状が出る頃には進行しており手術ができないという状況をよく経験します。

肝胆膵は腹部エコーで検査することができます。異常があればCTなどの精密検査や、専門病院への紹介を行います。腹部エコーは当院でできますので、ご希望の方はお気軽に当院までお問い合わせください。

『健康の達人』養成塾 塾生募集！
～驚き、楽しみ、誰かに伝えたい～

開催目的

- ①体って良くできてるなぁと感じてもらう
- ②自分の体を理解し大切にしようと思ってもらう
- ③奥会津が全国健康長寿のモデル地域になる

このような方に来てほしい！
・運動をすると体の中で何が起るか知りたい
・おいしいうってどういうことか考えたい
・様々な情報に流されずに、納得した運動習慣を身につけたい

○入塾資格 健康に関心がある18歳以上の方で、柳津町、三島町、金山町、昭和村在住の方

○受講料 無料

○募集定員 80名（定員になりしだい締切となります。）

○申し込み先 県立宮下病院 ☎ (52) 2321

県立宮下病院から

愛ばんしょ外来のお知らせ

宮下病院では、毎週木曜日「愛ばんしょ外来」を行っています。

①病気や障がいを抱えて家で生活する方や、家族からの介護や生活についての相談窓口

②地域に住む方々の健康維持・増進、介護・疾病予防のための支援

③地域に住む方々が気軽に立ち寄れる交流場所の提供などを目的に、看護師、薬剤師、栄養士、リハビリスタッフが皆様の在宅生活のためのお手伝いをさせていただきます。

※相談コーナーでは、例えば……

「健康のことを考えたいけど、何をすればいいのかわからない」「介護のコツを知りたい」「話し相手が欲しい」など、健康、介護、医療に関することについてご相談をお受けします。

－7月の日程－ ※「みしま健康ポイント」の対象です。

月 日	内 容
7月11日Ⓜ	・相談コーナー ・健康教室「転倒予防とロコチェック」 （講師：理学療法士）
7月18日Ⓜ	・相談コーナー ・健康教室「熱中症を予防しよう」 （講師：看護師）
7月25日Ⓜ	・相談コーナー ・健康教室「転倒予防とロコチェック」 （講師：理学療法士）

※健康教室の内容は、変更になる場合があります。

<各コーナーの開催時間のお知らせ>

相談コーナー 午前9～12時・午後1時～午後4時

健康教室 午前10時30分～午前11時

※宮下病院外来待合室で行います。

費用は無料です。

どなたでもご利用可能ですので、お気軽にお越しください！
（相談コーナーと健康教室は予約不要）

【問い合わせ先】県立宮下病院 ☎ (52) 2321

東北電力からのおねがい

発電所やダムから水を流したときの水難事故を防ぐため、各所に注意札を立てております。水を流すときは、スピーカーやサイレンによってお知らせしますので河原にいる人は危険ですから、すぐ安全な場所に移動されますようお願いいたします。

次のときにスピーカーをならします

- ① ダムから初めて水を流す約10分前
 - ② 発電所から初めて水を流す約10分前
 - ③ 発電所の出力を増やし水を多く流すとき(放送内容)
「今から川の水が急に増えます。河原にいる人は危険ですから、すぐ上がってください。」
- ※毎日9時にスピーカーの音を実際に鳴らして、装置の点検を行っております。

次のときはサイレンをならします

- ①ダムの流量が毎秒1,000m³に達したとき
 - ②ダムの流量が毎秒2,000m³(洪水量)に達したとき
 - ③ダムの流量が洪水量オーバー後毎秒1,000m³増加毎(警報内容)
- | サイレン | サイレン | サイレン |
|-------|------|-------|
| ■■■■■ | 休み | ■■■■■ |
| 50秒 | 50秒 | 50秒 |

<河川への不法投棄はやめましょう！>

<問い合わせ>

東北電力(株)会津若松電力センター制御所

(☎ 0242 (22) 2220)

只見川ダム管理所

(☎ 0241 (52) 3422)

阿賀野川水系ダムの状況を当社HPから閲覧出来ます。

東北電力HP — 災害に備えて

— 阿賀野川水系ダム情報

<https://www.tohoku-epco.co.jp/dam/index.html>

社会を 明るくする運動 7月は強調月間です

犯罪や非行を防止し
立ち直りを支える地域のチカラ

今年で69年目を迎える「社会を明るくする運動」は、すべての国民が犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生についての理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

安全・安心な町づくりと、青少年の健全育成のために、町民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

社会を明るくする運動 強調月間の活動予定

◆町内パレード

実施日 7月9日(火)

各地区を回りますので温かいご声援をお願いいたします。

◆早朝座禅

実施日 7月下旬予定

決定次第お知らせいたします。

◆みしまテレビ広報番組

①「心のリレー」

6月28日(金)から7月26日(金)までの間、午後2時から放送します。

②「更生保護」

6月28日(金)から7月26日(金)までの間、午後2時30分から放送します。

広報番組をご覧になり社会を明るくする運動へのご理解、ご協力をお願いいたします。

「社会を明るくする運動」 三島町推進委員会

☎ 役場 町民課 ☎ (48) 5565



会津坂下警察署からのお知らせ

古物商の方へ重要なお知らせ

法改正の全面施行(公布の日から起算して2年を超えない範囲内において法令で定める日)後も引き続き古物営業を続ける予定の古物営業者の方は、「主たる営業所等届出書」を提出する必要があります。

この届け出を提出しなければ、改正法の全面施行後は引き続き古物営業を続けることができなくなります(そのまま営業を続けると無許可営業となります。)

○提出期間 平成30年10月24日から改正法の全面施行日(公布の日から起算して2年を超えない範囲内において政令で定める日)の前日までの間

○提出先 主たる営業所又は古物市場の所在地を管轄する警察署

○提出書類 主たる営業所等届出書

☎ 会津坂下警察署 生活安全係 ☎ 0242 (83) 3451

街頭犯罪発生件数(5月31日現在)

区 分	管 内	三島町
強 盗		
空 き 巣	1	
忍 び 込 み		
事 務 所 荒 し	3	
出 店 荒 ら し		
自 動 車 盗		
オ ー ト バ イ 盗		
自 転 車 盗		
自 販 機 ね ら い	3	
車 上 ね ら い	1	1
強 制 わ い せ つ	1	
街 頭 犯 罪 合 計	9	1
そ の 他 刑 法 犯 等	23	5
全 刑 法 犯	32	6

特徴: 昨年6月から7月にかけて、器物損壊が多く発生しました。また、5月は野荒らしが多く発生しています。

その他刑法犯等には、暴行・傷害・万引き・詐欺・器物損壊などの犯罪発生件数が含まれます。※上記発生件数は、平成31年1月1日からの累計数となっています。



消防署からのお知らせ

～熱中症に注意しましょう～

大量の発汗 めまい 頭痛 嘔気 嘔吐
虚脱感 筋肉の硬直 皮膚の紅潮 など

こんな症状が出たら・・・



○作業、運動を中断し、風通しの良い日陰やクーラーの効いた部屋などすぐに涼しい場所に避難させましょう！

○衣類を脱がせて熱を外に逃がしましょう。

うちわや扇風機で風を当てて冷やします。氷のうなどで首の後ろ、脇の下、太ももの付け根を冷やすと効果的です！

○スポーツドリンク等により水分・塩分を補給しましょう。

意識障害などにより、自分で水分補給が出来ない場合は、無理に飲ませず、医療機関を受診しましょう！



※住宅用火災報知器のバッテリー交換期限の目安はおおむね**10年**です。電池切れなどで火災を感知しなくなることがあるため、各自点検をお願いいたします！

☎ 会津坂下消防署 三島出張所

— 火事・救急・救助は — 電話 (52) 3032
119番まで FAX (52) 3033

令和元年度 自衛官募集案内

採用種目	資 格	受付期間	試 験	日 時	試験会場	備 考
自衛官候補生 (男子)	18 歳～ 33 歳未満	随 時	筆記試験 口述試験 身体検査	9 月 21 日④午後 9 月 29 日⑤	会津大学 郡山駐屯地	筆記試験・口述 試験・身体検査 の両方を受験し ます。
自衛官候補生 (女子)	18 歳～ 33 歳未満	随 時	筆記試験 口述試験 身体検査	9 月 21 日④午後 9 月 28 日④	会津大学 郡山駐屯地	
一般曹候補生	18 歳～ 33 歳未満	7 月 1 日⑤～ 9 月 6 日⑤	1 次試験 (筆記)	9 月 21 日④午前	会津大学	1 次試験合格者 の 2 次試験(口 述試験・身体検 査)については、 後日通知します。
			2 次試験 (口述試験・ 身体検査)	10 月 13 日⑤～ 10 月 15 日⑥ ※指定する 1 日	郡山駐屯地	
航空学生	海：18 歳～ 23 歳未満 空：18 歳～ 21 歳未満	7 月 1 日⑤～ 9 月 6 日⑤	1 次試験 (筆記)	9 月 16 日⑤	郡山駐屯地	

※試験日程は上記のようになっております。詳細は担当の広報官にお尋ねください(受験料はすべて無料です)
●自衛隊福島地方協力本部会津若松出張所 会津若松市門田町大字黒岩字大坪 57-1 ☎0242 (27) 6724

会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部
消防職員募集案内

来年採用予定の消防職員を募集します。

1. 採用職種及び採用予定人数

試験職種および 採用人数	職務内容
消防職員 (8 名程度)	消防署等において、警防、予防、 救急等の業務に従事します。男女と も原則として深夜業を含む交替制勤 務です(6 ヶ月間の消防学校研修後、 各所属に配属されます)。

2. 受検資格

高校卒業程度の学力を有する方で、平成 4 年 4 月
2 日から平成 14 年 4 月 1 日までに生まれた者
身体の基準は、身体強健な者とする。

3. 試験申込書の請求

消防本部・消防署・分署・出張所・市町村役場で
交付します。
なお、消防本部のホームページ(アドレス [http://
www.119-aizu.jp](http://www.119-aizu.jp)) から受験案内および試験申込書
をダウンロードすることができます。

4. 郵送を希望する場合

封筒の表に「採用試験用紙請求」と朱書きし、120
円分の切手を貼った宛先明記の返信用封筒(A4 半
大)を必ず同封して、会津若松地方広域市町村圏
整備組合消防本部総務課(〒965-0131 会津若松市
北会津町中荒井字諏訪前 11)へ郵送してください。

5. 受付期間

令和元年 7 月 17 日⑥～令和元年 8 月 16 日⑤
(勤務時間中(午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分)
に限りです)

ただし、土曜日、日曜日及び祝日は除きます。
郵便による申込書提出の場合は、令和元年 8 月 14
日⑥の消印があるものまで受け付けます。

6. 第 1 次試験

と き 令和元年 9 月 22 日⑤
ところ 教養試験 会津大学
体力試験 会津大学体育館

●会津若松地方広域市町村圏整備組合 総務課 ☎0242 (59) 1400

後期高齢者医療保険では歯科口腔健康診査を実施します

被保険者の皆さまの歯科健康保持及び疾病予防等のため、令
和元年度は左記の内容で歯科検診を実施します。

歯の健康は、口腔状態の悪化による歯周病予防や、噛む力の
低下による誤嚥性肺炎予防のためとても重要です。この機会
に歯科検診を受診しましょう。

対象者 福島県後期高齢者医療の被保険者で、昭和 18 年 4 月

2 日から昭和 19 年 4 月 1 日までに生まれた方

健診項目 問診・歯(義歯)・咬合・歯周組織・嚥下の状態等
健診費用 無 料

健診期間 令和元年 6 月 1 日④～11 月 30 日④

留意事項

①対象歯科医院において実施しますので、詳しくは
5 月下旬に各対象者へ配布された案内状をご覧ください

②歯科検診が無料で受診できるのは 1 回となります

③長期入院されている方や介護施設へ入所されて
いる方は対象とならない場合があります

●福島県後期高齢者医療広域連合 ☎024 (528) 9024

個人事業税の納付をお忘れなく！

個人事業税は、県内に事務所・事業所を設けて物品販売や不動
産貸付業など、一定の事業を営んでいる方に納めていただく県の
税金です。

会津地方振興局県税部から送付される納税通知書により、年税
額を 8 月(第 1 期分)と 11 月(第 2 期分)の 2 回に分けて納める
ことになっています。

ただし、年税額が 1 万円以下の場合には、8 月(第 1 期)分に
一括して納めることになります。

●会津地方振興局 県税部 ☎0242 (29) 5251

社会福祉協議会より

サロンのご案内

▼大登サロン

7 月 9 日⑥ 13 時 30 分～
大登生活改善センター

▼大石田友遊サロン

グラウンドゴルフ大会

7 月 10 日⑥ 9 時～町営グラウンド
※雨天時 ワナゲ大会 10 時～

▼高清水・小山いきいきサロン
大石田生活改善センター

7 月 12 日⑤ 10 時～ 高清水集会所

▼滝谷和楽塾社会見学

7 月 23 日⑥ 新潟方面

▼間方いきいきクラブ・川井友愛サ
ロン・浅岐あつたかサロン合同社会
見学

7 月 29 日⑤ 猪苗代方面

▼ひまわりサロン

8 月 2 日⑤ 10 時～ 町民センタ―

▼サロンないり

8 月 2 日⑤ 10 時～ 名入集会所

弁護士相談のご案内

7 月 19 日⑤ 10 時～15 時

高齢者生活福祉センタ―

●社会福祉協議会 ☎(52) 3344

町の人口と世帯

6 月 1 日現在

人口	1,625	+2	出生	1
男	802	+4	死亡	3
女	823	-2	転入	4
世帯	770	0	転出	0

③住民基本台帳による数値です。増減数
は前月との比較、出生・死亡・転入・転
出は前月 1 カ月間に届出のあった人数で
す。

ご寄附ありがとうございました

町社会福祉協議会へのご寄附
ご遺志によるもの

小 柴 茂 様(西 方)
二 瓶 政 一 様(名 入)

お悔み申し上げます

二 瓶 愛 子(80 才・宮 下)

※掲載を希望される方もされない方も、各種手
続き時に『広報みしま掲載同意書』に記載事項
を記入していただきます。ご協力をお願いいた
します。
●特命担当課 ☎(48) 5232

【納期限 7 月 31 日】

▼固定資産税(第 2 期)

▼国民健康保険税(第 2 期)

▼介護保険料【普通徴収】(第 2 期)

●町民課町民係 ☎(48) 5555

忘れずにお納めください

東京2020オリンピック聖火リレー ランナー募集のお知らせ

2020年に開催される東京オリンピックの聖火リレーランナーを下記のとおり募集します。

○公募期間 **令和元年7月1日(月)から8月31日(土)**

○公募人数 59人 (県内59市町村からゆかりのあるランナーを各1名選出)

○応募方法 以下の2通りとなります

①応募フォームからの応募

「TOKYO2020 ふくしま情報サイト【ふくしまプラス 2020】

URL: <http://www.fuku-plus2020.jp> または【ふくしまプラス 2020】で検索」のトップページから応募フォームに入り必要事項を記入して応募してください

②郵送での応募

所定の応募用紙(役場でも配布しています)に必要事項を記入し、下記へ送付してください(8月31日までの消印有効)

送付先: 〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号

東京2020オリンピック聖火リレーふくしま実行委員会事務局

○その他 全国的に共通している聖火ランナーの基本応募要件等については、東京2020組織委員会HP(URL: <https://tokyo2020.org/jp/special/torch/olympic/torchbearer/>)で確認できます。

福島県の応募用紙や応募フォーム、募集要項等のランナー募集に係る情報については「TOKYO2020 ふくしま情報サイト『ふくしまプラス 2020』」のトップページに掲載しています。

問 福島県聖火ランナー募集コールセンター ☎ 0570 (200) 502
(受付時間: 平日9:00 ~ 17:00)

町長日記 (シンプルな判断)

No. 48

様々な場面において時として、複雑な判断が要求される場合があります。多数の考えが決まっているものでも、自分自身の目で確かめ、自分なりの見方で再考する時、見えなかった事も見えてくる場合があります。

その為には、時代の動向や環境、そして地域性等を常に念頭に置くことが大事なのではないかと思っています。

自分なりのシンプルな判断基準を持つていると、人の噂話や世間の評判などに対する対応として、周りに振り回されることなく、常識的な判断で決断できると考えています。

奥会津地域は、同一の課題が多くあります。少子高齢社会の現実に対応して行かなければならない、若者定住対策や雇用の場の確保・農林業の振興対策・遊休農地対策等々の喫緊の課題が多々ありますが、「人口減」という現実に対応する視点として、人口減少社会の希望という新たな視点から考えることが必要であ

ると考えます。

三島町を含む奥会津地域は、競争社会の中で生き残る事は出来ないと考えています。激しい競争は勝者と敗者を明確に隔てていくため、都市圏と地方圏の共生を考えることが重要であると考えます。グローバルな大企業とローカルな小規模企業に同一の競争ルールを適用したところに大きな問題があったように思います。画一的な国土の形成でなく、多様性のある国土の形成を図っていく事が重要ではないかと考えています。

奥会津地域には、様々な地域資源があります。水・温泉・森林等の自然環境は持続可能な社会形成のキーワードであります。自然・環境・再生・福祉・医療・地域連携等のキーワードの縦糸と横糸を編んで行く事で、持続可能な地域になると信じています。その為には、この地域に生きる住民の皆さんのプライドの回復が必要ではないかと考えます。

三島町長 矢澤 源成